

動画はこちらから→



# 町内のATM対応は

## 銀行や農協の方針を見守る



廃止が見込まれているATM

**質問** 舟形町内のきらやか銀行や農協のATMが廃止になるという説明や貼り紙などが行なわれ、きらやか銀行は3月31日で廃止、農協は7月1日に旧長沢支所・旧堀内支所跡地等、3ヶ所のATMがなくなるようですが、ATMを利用されている町民が心配されているようですが、町としての対応を考えているのか。

**町長** 2月28日に富長、堀内の各連合町内会役員及び町会議員からATM存続についての要望書を受けまして、3月4日もがみ中央農業協同組合本店において押切組合長とお会いし、ATM存続について要望を行っていただきました。

町としては、今後もATM存続についての要望を行ってまいります。4月から町内デマンドタクシーの増便も行われる

**町長** 当町では、令和5年度実績で総額1億4054万円が交付されており、そのうち水張りを行っているのは、5964万円。条件を満たさない場合、減額される可能性があります。

当町としては、これまで国などに対し、交付対象水田をこれまでどおりとすることや、現場の意見をよく聞いて決定すること、畑作物に対する交付金の充実、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「和食」の保護・継承を目的とした新たな交付金の創設など、食料安全保障の観点からも再生産が可能で、農業者が意



水張りをしないと交付対象外になる

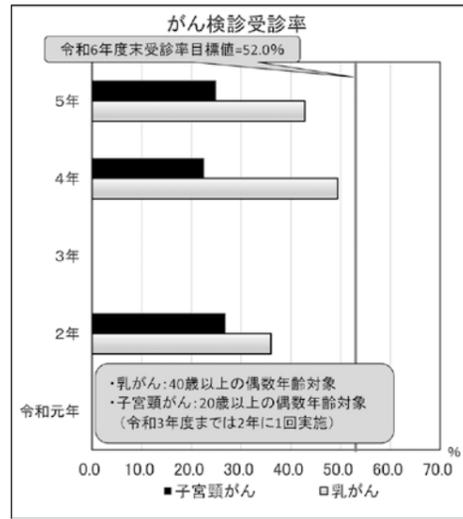
欲をもって営農活動ができるよう要望してまいります。

←動画はこちらから



# がん検診受診率・現状と課題は

## 20歳と25歳に無料クーポン券を発行する

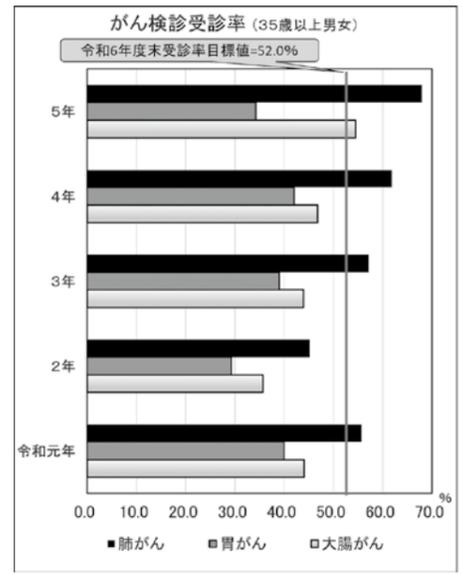


**質問** 舟形町の死因の第1位は、がんであることから、当町ではワンコインがん検診、人間ドック等拡充の助成を行っています。本年のがん検診受診率は、大腸がん、肺がん検診は目標の52%を達成していますが、胃がん検診は34.2%、

乳がん検診は42.8%、子宮頸がん検診は24.9%と目標値を大きく下回っているのが現状です。ワンコインがん検診を他の医療機関でも拡充し受診できる方策は考えていないのか。

令和4年度検診申し込み書に未記入の方が全体で954人と対象者全体の43.1%を占めています。大切な家族と健康でいつまでも暮らしていけるように、病気の早期発見・治療が必要です。

**町長** 日本では死亡原因の第1位が「がん」で、当町においても死亡原因が「がん」が最も多かったことから、検診による早期発見、治療につなげるため、少ない負担で受診できるように令和元年度から、500円で受診できる「ワンコインがん検診」に取り組みしました。



発行し若年層の受診意識の高揚に繋がっていきます。全ての医療機関でワンコインがん検診を適用させることについては、医療機関ごとに委託契約を結び必要があるため、契約に至るのは難しいと考えます。